



手作りギターを手にバンド発表をする百合さん（左から二番目）

感謝

水上の友

発行 社会福祉法人
大阪水上隣保館
〒618-0001
大阪府三島郡島本町
山崎5丁目3-18
発行人 水本行彦
編集 広報委員会
法人事務局 075-961-0711
FAX 075-961-1144
<http://www.osakasujorinpokan.com/>
印刷所 有木村桂文社

『無理をしない』

難しさと大切さ

百合

私は、不登校などが原因で小学三年生のときに、ひびきに入所しました。入所した当初は不安で毎日泣いていました。

ひびきには『みゅーず』という分教室があります。小さな学校で、個別的に関わってくれるので、私も毎日通うことができました。先生たちはやりたいうことを応援してくれました。中学生のとき、好きなバンドを真似て発表しようとして、見た目は本物そっくりのギターを先生にも手伝ってもらい、一から手作りしたことを懐しく覚えています。

一時期、本校（地域校）登校のチャレンジをしたことがありました。私にとって本校登校は一番の目標でした。頑張りたい気持ちが強かった分、自分を追い込んでしまい、結局通えなくなりました。

たくさん泣き、職員さんや先生たち

二〇二五年標語

平和を実現する人々は、幸いである

—マタイによる福音書五章九節—

とたくさん話し、分教室に戻り中学卒業まで通いました。すごく悔しかった反面、どこか「無理なものは無理」と割り切ることが、自分を追い込まない方法なのかもしれないと感じた経験にもなりました。

当時の私は、学校だけでなく人との距離感や家族のことでも、しんどくなることも多々ありました。そんなときいつも話を聞いてくれていたのがセラピスト（心理士）でした。しんどくなると泣いて動けなくなっていた私の、ぐちゃぐちゃな気持ちを一緒に言葉にし整理してくれました。この経験が重ねられたことで、私は少しずつ強くなりました。

中学卒業と同時に、ひびきを退所した私は、父母宅ではなく祖父母宅に帰り、そこから単位制高校に進学しました。毎日初めてしつかり通えた三年間でした。父母とも一定の距離を取りながらの生活は、家族との付き合い方などを考える時間にもなりました。

大学はひびきでの経験に影響を受け、福祉学科に進学しました。ここでも私は頑張りがすぎてしんどくなり、ひびきの職員さんや母にも相談し、休学することになりました。一旦全部やめたことで気持ちが楽になり、心配してくれる友達からの励ましもあり、復学し半年

遅れで卒業することができました。そんな中で私が行き着いたのは、キャパシティ以上のことをして潰れるよりも自分のできる範囲で、長く続ける方が大事なんだということです。

就職はサポートを受けながら保険会社の事務職として働き始め、今に至ります。そして、この春には結婚もしました。仕事も家事もちゃんとこなすとはと自分を追い込んでしまいましたが、夫や家族が話を聞いてくれます。しんどくなったときに、そばで支えてくれる人が私にはずっといます。そのことに感謝しながら、これからも少しずつ進んでいこうと思います。

(ひびき 二〇二二年度卒園)

クリスマス

おめでとーございます



人が義とされるのは行いによるのであって信仰だけによるものではありません。

—新約聖書ヤコブの手紙 二章二四節—

核兵器のない世界の実現、二度と使われてはならないと、証言を通して示してきた「日本被団協」の訴えや願い、そしてノーベル平和賞受賞の意味を、深く噛みしめたい。

社会福祉法人 大阪水上隣保館

大型遊具設置

この度、『ブレイグランド・オブ・ホープ』さんと『すかいらくホールディング』さんに、大型遊具を寄贈・設置していただきました。

設置場所は、
ちがよく遊ぶ、
です。 遙やひびきの子どもた
建物の裏手にある広場

十月十五日から、整地や道具の搬入が始まり、三日間の行程で作業を進めていただき、ボランティアの方が多くご参加くださったおかげで、準備も着々と進んでいきました。

子どもたちも準備に参加し、人工芝を敷く子、遊具を組み合わせる際に支えるお手伝いをする子、遊具周辺にタイヤの跳び箱を埋めるため、シヨベルを持って作業する子もいました。

こうして、無事に完成した大型遊具のお披露目会が十月十八日に行われしました。設置に関わってくださったみなさんと記念撮影をし、園長のかけ声をスタートに遊具でひとしきり遊ぶ中には、ふかふかな芝に横たわる高校生の姿もありました。

その後の夕食も『すかいらくホルディング』さんにご支援いただき、調理も厨房でしていただきました。ハンバーガーやポテト、ウインナーにナゲットなど、満面の笑顔で頼張る子どもたちの写真がたくさん撮れました。

お披露目会の日は二時間ほどしか遊



ばませんでした。翌日は朝から小学生たちが、思い思いに遊具で遊ぶ姿が見られました。高いところから景色を見てのんびりしている子もいれば、鬼ごっこをする子や、滑り台から誰が面白く滑り降りてくるかを見せ合っている子ともたちいました。また夜にも中高生男子と職員が芝に寝転び空を見ながら話している姿もありました。

みんなが、活発に遊ぶうちに、汚れたり、傷ついたりしてしまうことが予想されますが、定期的なメンテナンスも含まれたご支援と聞き、職員はさらに感謝の思いを募らせております。

子どもたちが施設で生活する中で、
思い出の場所が、またひとつ増えたこ
とを嬉しく思います。

(指導員 阿津坂泰弘)

みんなの広場



カット絵・5歳 男子
「ひつつきむしで作ったクマとウサギ」

『将来の夢』

僕は 就職先を学校の先生から紹介してもらい調理関係で考えています。

何年か働くと調理師免許が取れるそうなので、いつかその免許でキッチンカーのお店を持って、いろんなイベントを回りたいです。

（高三 男子）

(高三男子)

『ずっとこのままがいい』

目をパンパンに腫らして起きてきたAちゃん。職員は驚いて「痛くない?」など心配し、目を冷やしたり、通院の手配をしています。その横で鏡を見ながら「かわいい」と腫れた目を絶賛し「ずっとこのままがいい」と言っていました。瞼がピンクになっていたからだそうです。(小1 女子)

(小女子)

『したいこと』

児童相談所のケースワーカーさんと
ひびきの担当さんとおやつパーティー
をしたい！
（小五 男子）

(小五 男子)

事務局長	主幹兼遙学園副施設長	主幹兼豊中市乳児院新施設準備室長	児童養護施設遙学園施設長	児童養護施設翼施設長	児童心理治療施設ひびき施設長	大阪水上隣保館乳児院長	特別養護老人ホーム弥栄の郷施設長	山崎保育園長	認定こども園藤の里保育園長	障害者自立支援拠点モンテッソーリ施設長	大阪保育福祉専門学校長	附属診療所さくらクリニック院長	さくら館長	学 校 法 人 山 崎 学 園	幼稚園長	山崎幼稚園長
竹崎博幸	濱口京子	高山嘉史	村井徹	土井聡子	幸嶋成幸	丸谷邦江	杉本美由紀	山崎深	久野弘美	大島弘之	安原千香子	飯田享子	齋藤輝子		大森弘子	山崎

理事長	元大阪府契約局長 (学)山崎学園理事長	水本行彦
常務理事	児童養護施設逢学園 施設長	村井徹
理事	元大阪府教育長	黒川芳朝
同	衣目公認会計士事務所長	衣目修三
同	元島本町民生部長	岩村一教
同	元島本町主任児童委員	川淵敬子
同	特別養育老人福祉施設 チリヤホス・ベネッセ グループ代表取締役 元大阪和銀行現職(株)のそ な銀行事務部長代理	杉本由紀
監事	元山崎幼稚園長	村田和彦
同	福祉哲学研究所所長	吉田美代子
評議員	前ナトリ外務次官 花外楼次女将	秋山智久
同	山崎蒸溜所工場長	藤井敬久
同	同志社大学名誉教授	山田裕子
同	大津福音教会牧師	上田恵美子
同	洋画家	加田哲二
同	公認心理師	濱口美雪
同	元島本町立福喜教員	藤田啓文
同	前島本町教育センター所長	掘田守人
同	(社福)武田塾理事長	山上幸雄

延原正海先生召天記念会

法人理事延原正海先生は九月二十八日に逝去され、十一月四日(月)にゆりの礼拝堂にて『召天記念会』が執り行われました。

礼拝の前に、延原先生のご遺志によりご親族と関係者代表で、桜の木に散骨が行われました。そこには、奥様の千恵香先生も散骨されています。その後、礼拝堂にて、元弥栄の郷施設長の井上喜雄牧師の司式の下、礼拝が行われ多くの卒園生、旧職員、ご親交のあった方々が駆けつけられました。

その後の偲ぶ会では、延原先生が執筆された『愛と平和の福祉実践論』が日本国憲法の公布日である、十一月三日に合わせて出版されましたので、ご出席された皆さまに配布されました。

大阪水上隣保館の法人理事としても大きな役割を担い、永年に渡る尊い働きに、心より感謝する祈りを捧げます。



延原先生を偲ぶ



一九六七年に遙学園に指導員として就任されて以降、寮長や館長補佐を経て二〇〇一年から二年間、延原先生は弥栄の郷施設長を務められました。

就任された直後に実施されたのが館内禁煙です。当時は分煙に対する認識が殆どない時代でしたが、迷うことなく実施されました。

延原先生は机に向かって仕事をされるというよりも、入居者や職員のいるところに来て、動き回るような方でした。ある時は、床にこびりついたゴミをへうで入念に取り除き、またある時はクラブ活動で、太鼓を叩きながら陽気に踊っておられることもありました。

そのような日々を過ごしながら、管理者として幅広い視点で弥栄の郷全体を見守ってくださっていたのだらうと思います。

体調を崩されてから「自宅へ訪問した際「弥栄の郷が心配なんや、よろしくな」とおっしゃっていました。が、先生が実践されてこられた『愛ある働き人』として、この先も、理念に基づき、取り組んでいきますのでご安心ください。

どんな時も真っすぐに法人運営に尽力されてきた雄姿を忘れません。

(弥栄の郷 統括 赤木優一)



▼人生を共に歩める信頼できる彼女ができ、結婚された河原くんのお写真に心があたたかくなりました。支援される周りの方々の熱い気持ちもしみじみ感じられました。また『みんなの広場』の中一女子のアイデアに素晴らしいものを感じました。

(大阪府三島郡 齋藤悦子)

▼河原順一君の手紙を読んで、水上隣保館にお願いした多くの子どもたちのことを思い出しています。すべての子どもが実り多い人生を歩んでいるように願っています。

(大阪府豊中市 西村晃・明子)

▼輪島市復興支援手伝いに遙学園の男子高校生が職員と一緒に参加されたこと、うれしく拝読しました。みんなみんなこの社会の構成員であることを実感したことでしょう。どうぞ、引き続きこの活動が継続されますように。

(大阪府高槻市 高木美紗・誓子)

▼いつも水上の友を送ってくださってありがとうございます。子どもたちが元気に明るく日々を過ごし、成長されるよう、祈っています。

(徳島県 鈴木圭子)

▼『訪問を重ねる中で感じる 子どもの成長』

Kくんと久しぶりに野球をしました。二ヶ月前にも一緒に野球をしました。その時よりもバッティングもピッチングもレベルアップしていて驚きました。前回はまだ、空振りがあったり暴投もあったりといった感じでしたが、今回は逆に僕の方が三振を取られ、ホームランを打たれてしまうなど、やられてしまう側に回っていました。今後は、僕もしっかりレベルアップして挑まなくてはなりません。

今度は、中学生のAくんともキャッチボールをしました。しっかりした投球で、中学一年生と聞いて驚きました。きつとまだまだこれから上手になっていくんだと感じ、Aくんの成長がすごく楽しみです。

今回の訪問では、いろいろな子と関わることができて嬉しかったです。とくに、これまでは関わりの少なかった中高生の子ともたちと遊ぶことができ、とてもいい時間になりました。

(みらい子ども財団 町野智樹)

計 報

延原正海さん

(二〇二四年九月二十八日召天)

法人理事

御霊の上に神様の祝福が豊かにありますようにお祈り致します。

児童養護施設 遙 学 園

『ケイトーホーム』開設

島本町桜井台に、新しく地域小規模児童養護施設『ケイトーホーム』を開設します。定員は六名で、中高生を中心とした構成です。

すでに、遙学園には三力所の地域小規模児童養護施設がありますが、老朽化の問題や立地などから新しい物件を探していました。しかし、6LDKほどの物件を家賃の上限もある中で探すとなると、簡単にはいきません。良い物件が見つかったと思っても、すぐに契約が他で決まってしまうなど、半ば諦めかけていた時に、今回の物件に出会えました。

『ご紹介いただいたご支援者さんとは、長年に渡り交流があり、小学一年生を入学時にお祝いの食事に連れて行ってくださったり、園のスポーツパーティーやクリスマス会にお菓子をくださったり、卒園生に記念品をくださったっています。』

物件は、長らく空き物件となっていたため、傷みがひどくリフォームが必要な状況でしたが、それもご支援者さんが担ってくださいました。

夏休み中の高校生男子を『ケイトーホーム』の作業現場にアルバイトとして雇っていただいたり、貴重な体験も

させていただきました。アルバイトに入っていた高校生男子は、当初は緊張し、一人で作業するため不安などもありましたが、仕事に慣れていくうちにテキパキと指示をこなしていくことを大変褒めてもらい、自信をつけることができました。

『ケイトーホーム』に移り住む子どもたちは、新しい環境での生活に期待に胸膨らませ、家具や家電などの買い出しを職員と楽しんで準備しています。家具屋で見本として配置されているモデルルームなどを見ては、自分たちの部屋にどのように配置するのかなど、楽しそうに話している様子も見られます。

開設の前から、子どもたちも様々な形で関わらせてもらった『ケイトーホーム』を、地域の方にも支えられながら、大切に使用させていただきます。

(指導員 荒賀政宏)



児童養護施設 翼 (つばさ)

広がる輪

月に一回、近隣にある『信行寺』の本堂を開放してもらい、地域の方と集う機会があります。水上の友第一四四号三面でもご紹介しましたが、地域のブラットフォーム作りの一環として始まりました。子どもと大人、皆で自由に遊んだり話したり歌ったり、ゆったりとした時間を過ごしています。

この『つどい』での遊びの中にはオセロやパズル、囲碁や将棋に百人一首などの昔ながらの遊びもあり、日本の文化に触れられる機会でもあります。

そこで将棋に熱中した子どもを見て男の子が興味を持ち、打ち方を教えてもらい、二人がホームでも将棋を打つようになりました。最終的にはホームで将棋トーナメントを行うまでになりました。年齢も性格もバラバラな子どもたちが、将棋という遊びをきっかけにひとつになていました。

更に、毛糸や絵の具等工作グッズもあり、たくさん材料の中から自由な発想でモノ作りを楽しむ子どももいます。周りの声が聞こえないほど熱中しており、その熱は施設でも冷めることはありません。段ボールやお菓子の箱などを使って毎日のように工作しています。

最初は各々で楽しんでいた子どもたちですが、少しずつその楽しみは変わり、皆で楽しいことを考え創り出すようになりました。各々の意見が合わさって、日を追うごとに形を変え、とても面白いものができあがります。思い描いていたものができた時は、皆で一緒に喜びました。自分だけの楽しみから皆との楽しみにつながる、とても素敵な輪が広がっています。

地域の『つどい』をきっかけに、新たなつながりが生まれました。子どもたちはひとりでは感じられない楽しさ、嬉しさ、人とつながる喜びを感じることでできています。地域の大人に見守られながら、居心地が良いと思える場所が増え、子どもたちも毎月の『つどい』を心待ちにしています。私たち職員もその輪をもっと広げられるよう、日々支援していきたいと思っています。

(児童指導員 松田薫子)



児童心理治療施設

ひびき

SOSへの『手当』

子どもたちは日々、多様な身体症状を訴えます。多い時では、日に十名以上の子もたちが、それぞれの表現方法で懸命に訴えてきます。

ある朝、小学五年生のKくんが首を押さえながら「動かへん」と泣きじゃくっていました。普段は明るくノリの良い『お調子者』の男の子ですが、初めての経験にパニックになったのでしょうか。首はどう見ても『寝違え』の状態なのでそう説明するのですが、『寝違え』を知らないKくんには伝わらず、「首が動かへん！」とパニックは続きます。

そこで私は『寝違え』の状態をどうにかイメージしてもらおうと、私が床に寝ころび「私の頭を持ち上げてみて」とKくんをお願いしてみました。突然の私の行動に戸惑いつつも、Kくんは私の頭を恐る恐る持ち上げます。「頭ってすごい重いやろ？」と聞くと「うん」と驚いた様子。「こんなに重いものを首は支えてるねん。だから、首が疲れた時には重みに耐えられなくなつて捻挫みたいになるんやで」と説明すると、「うん」と腑に落ちた様子。シップを貼ると、ようやく安心した表情になりました。



(看護師 州崎悦代)

挨拶のように、会ったたびに小さな傷や発赤を指さして見せてくれる子や、部屋に呼び、そっと秘密を打ち明けるように訴える子。私の顔を見ると急に痛いところはないかとあちこち探し始める子など、訴えは三者三様で意味深いものがあります。

どんなに小さな訴えであっても、できるだけ何らかの『手当』をするようにしています。医学的には小さな傷でも、子どもたちにとっては訳の分からない不可解な現象であり、不安材料のひとつになるからです。

不調を訴えたときに、確実に『楽に』してもらえたという経験は、子どもたちの確かな安心感につながります。身体症状を訴え、手当てしてもらうことを通して、困った時にはSOSを出せる練習をしてほしいと思い、日々『手当』しています。

乳 児 院

♡ 初めての誕生日

一歳の誕生日をはじめて里親宅で迎えるAちゃん。ケーキを囲み皆で歌っています。里父が嬉しさのあまりAちゃんに顔を近づけてスリスリした瞬間、驚いて里父の顔をパンチしてしまいました。(里親支援専門相談員 石阪博子)

♡ 面会へ

遠方の父母の元へ、電車を乗り継ぎ向かいます。お出かけ気分でご機嫌でしたが、都会の騒音に目をパチパチさせています。久しぶりの再会に緊張していました。抱っこをしてみたい、笑顔で帰ってきました。(家庭支援専門相談員 森 美津子)

♡ 大好きな友達

Bちゃんは、遙学園に引っ越したCちゃんとD君のことが大好きです。お散歩中に二人もそれに応えてぎゅーっとハグしてくれます。こんな関係が続ければいいなと感じた瞬間でした。(主任 王子麻衣子)

♡ 栗ご飯

秋になると隣保館周辺に榊栗が落ちてきます。拾った栗を大事そうに持ち帰り、厨房まで持って来てくれます。その栗は、栗ご飯に変身します。創設

者が食に困らないようにと植えられた木々。時を経て繋がつていることに感謝します。(栄養士 山本明美)

♡ 憧れの存在

土日の散歩では、小中学生さんとお会いします。サッカーを教えてくれたり、拾った栗を分けてくれたり、カマキリを触らせてくれたり。最初は緊張した様子の子どもも、次第に目をキラキラさせて小中学生に憧れの眼差しを向けていました。(副主任 今道さやか)

♡ 夜のお散歩

十五夜の日、職員で子どもたちのために、画用紙でうさぎの耳を作りました。それを見た子どもたちは嬉しそうに飛び跳ねて、とても楽しそうです。夜、暗くなるのを待って、まん丸お月様が見える散歩を楽しみました。(副主任 坂下美穂)



特別養護老人ホーム

弥栄の郷 (やえのさと)



デイサービス曜日対抗運動会

利用者さんが楽しく参加できる種目を考え、運動会として玉入れをしました。曜日対抗にして利用者さんが輪を作って座り、制限時間(一分間)に入れた玉の数を競い、多く入った曜日が優勝です。

「月曜日より多く入れよう」「火曜日に勝つぞ!」などの声を掛け合っていて盛り上がり、チームごとの絆も深まっています。普段大きな声を出されない利用者さんも、この時は声を出して応援されていました。

「楽しかった」と喜ばれ、いつもとは違った表情を見ることができました。今後も楽しんでいただけるように色々なレクリエーションを考えていきます。

(介護職員 川上京子)

障害者自立支援拠点

レモンテラス



秋の芋掘り体験と焼き芋会

みんながお待ちかねの芋掘り体験が今年も開催されました。二歳から六十歳までの年齢も個性も様々な利用者さんが、それぞれの得意なことを活かして頑張りました。

大きい芋を掘り出してくれる力持ちの子どもたち。芋を車椅子のテーブルに乗せて運び、土の汚れを丁寧に払ってくれる利用者さんもいました。みんなで協力してたくさん収穫できました。芋掘り終了後、じつくりと焼いた芋をいただきました。「美味しかった」「大きい芋とったでー」「虫イヤやった」など、おしゃべりもはまりました。レモンテラス全体が楽しく笑い声の絶えない一日になりました。

(支援員 太田明子)

大阪保育福祉専門学校



Tik Tok & インスタ

やっています!

HOSEENでは、パンフレットやHPはもちろん、高校生対象の進学サイトや進学雑誌を通じて色々な広報活動を行っています。

学校のことを知ってもらうのが一番の狙いですが『愛ある働き人』、具体的に、「障害のある子どもや虐待を受けている子ども、そして保護者に対応できる保育者」になりたいと思っている人に、一人でも多く入学してほしいと考えています。

そこで、教員の感覚ではなく、在校生自身で学校のPRをしてもらうのが何よりと思い、「Tik Tok、インスタグラム」を始めました。飾らない学生の雰囲気は是非ご覧ください。

(副校長 植田彌生)

山崎幼稚園



園庭の竹でおもちゃ作り

『マンカラ』という卓上ゲーム(ビー玉などを入れる穴が並んだボードの上で、自分の陣地の穴からビー玉を早くなくした人の勝ち)が、年長組のクラスで流行し始めていました。しかし、一つしかボードがなかったため、子どもたちは順番待ちをしていました。

「それなら、マンカラを増やそう」ということで、みんなで手作りするということになり、材料は、幼稚園の敷地内で育っている竹を使いました。使い慣れないノコギリなどの道具に最初は緊張の面持ちでしたが、通園バスの運転スッタツに手伝ってもらい、上手に切ることができました。完成後、竹の手触りの良さを味わいながら、ゲームを楽しんでいます。

(教諭 磯田優香)

山崎保育園

『四歳になったらできる!』



異年齢クラス三歳児のAちゃんのお癖は「三歳やからできひん」。どうしてものかと頭を悩ませる担任保育者。しかし、そんなAちゃんに転機が訪れます。Aちゃんのお誕生日です。「四歳になったらできる!」というその言葉を信じました。

お誕生日当日、大きくなったら何にしたいかを問われると「保育園の先生」と迷いのない一言に、驚きと嬉しさが込みあげました。身辺のことも自分でやり始めたAちゃん。一つ大きくなったことで、やってみようかなという気持ち芽生え一歩前進。自信溢れる笑顔も見せてくれるようになりました。これからどんな成長を見せてくれるのか楽しみです。(保育士 池上希望)

認定こども園
藤の里保育園

落ち着いて過ごせるように



定員いっぱいしの二十六名で始まる一歳児クラスのうさぎ組。新入園児も多く、慣れるまで時間がかかる一方、人に興味を沸く時期で思いのままに表現もします。そのため、『落ち着ける環境作り』を考えてきました。

今年は保育室を二つに分けてスタートし半年が過ぎましたが、少人数で過ごすことで落ち着いてると実感しています。また、体を動かせるようにとホールにも保育室があります。分散することで担当のかかわりがより密になり、しっかりと愛着関係が築けているとも感じています。これからも子どもたちの気持ちに寄り添いながら、安心して遊べる環境を日々見直していきたいと思えます。(保育教諭 園中菜月)

附属診療所
さくらクリニック

痛くないインフルエンザワクチン



十月に入り、インフルエンザワクチンの接種が始まっています。今年度から、二歳から十九歳未満を対象に新たに鼻に噴霧するタイプのインフルエンザワクチン(フルミスト)が承認されており、当院でも接種を行っています。

従来の注射と違い、接種は年齢に関わらず一シーズンに一回のみで、両方の鼻にスプレーを吹きかけるだけなので、痛みが少なく注射が苦手な方や、接種部位が大きく腫れるという方にも選ばれています。

注射を怖がっていたお子さんも、接種後は「痛くなかったよ」と安心して笑顔になっていました。

(看護師 泉 典子)

つといの広場(子育て支援)
ぱんだのいえ

作って遊ぼう



一年を通して、季節の行事に合わせて親子で楽しめる製作キットを準備しています。

以前は来室時にスタッフと一緒に作っていたのですが、雨の日やちょっと体調の悪い日など、お家で簡単に楽しめるものを提供できればと、キットを用意し配布するスタイルに変更しました。工程は『のりで貼っただけでもいい』と、とてもシンプル。できあがった後は、遊んだり飾ったりもできるので「とっても楽しめました」と嬉しい報告もいただきます。

お家での製作中のエピソードをお聞きするのも楽しく、次はどんなキットにしようかと、スタッフも企画から楽しんでいきます。(統括主任 遠藤悦子)

社会福祉法人 大阪水上隣保館 [児童福祉 94 年]

大阪保育福祉専門学校

〒618-0001 大阪府三島郡島本町山崎5-3-10 TEL.075-962-1115 FAX.075-962-9001



山崎幼稚園



専門学校・本館・オリーブ館



専門学校・中村記念館



児童養護施設 進学園



児童養護施設 翼 (豊中市)



児童心理治療施設 ひびき



山崎保育園

つどいの広場 (子育て支援)
ばんだのいえ (島本町)障害者自立支援拠点
レモンテラス (島本町)

さくら館

認定こども園 藤の里保育園
(高槻市)ファミリーポート かつき
(高槻市)

大阪水上隣保館 乳児院



地域交流センター・ゆりの礼拝堂



特別養護老人ホーム 弥栄の郷

大阪水上隣保館 附属診療所
さくらクリニック (島本町)子ども家庭支援センター・
ファミリーポート ひらかた (枚方市)ファミリーポート サプリ村野
(枚方市)里親支援機関 おひさま
(枚方市)

豊かな自然環境の中でキリスト教の愛の精神に基づいた人格形成をします

山 崎 幼 稚 園

〒618-0001 大阪府三島郡島本町山崎5-3-1 TEL.075-961-3341 FAX.075-961-7296
ホームページ www.yamazaki-k.ed.jp